



先日の愛媛新聞に小学生から高校生の「将来なりたい職業」の記事が掲載されました。中高校生のトップは教員という結果でした。その理由として、子どもにとって身近な職業であることをあげていました。一方、教員採用試験競争率は、2000年は13.3倍だったのが、2024年は3.2倍（愛媛県は2.2倍）と年々低くなっています。実際に教員になりたい人の割合は激減しています。働く時間の長さや最近の学校環境が影響していると思われますが、かつて教員であった者として先生という仕事の良さ（魅力）を示したいと思います。



将来なりたい職業 (2024年)



小学4～6年生

1	プロスポーツ選手
2	店員（花屋・パン屋）
3	教員
4	ユーモア・Vチューバー
5	医師

中学生

1	教員
2	プロスポーツ選手
3	医師
4	看護師
5	保育士・幼稚園教員

高校生

1	教員
2	看護師
3	医師
4	地方公務員
5	保育士・幼稚園教員

学校の先生はおもしろい！ 教えることって楽しい！

- 1 成果や課題を子どもの表情や態度、理解度や成長で直接に感じることができる。
- 2 やりたいこと（授業・行事・生徒会活動・部活動等）を自分の自由に構成できる。
- 3 教員間の上下関係がほとんどない。上からの指示や強制をあまり受けない。
- 4 頭脳的仕事（授業・校務）と肉体的仕事（行事・清掃・部活動）とのバランスがよい。
- 5 教室、職員室、体育館、運動場等行動範囲が広く、机の前にずっと座っていない。
- 6 数年に一度、勤務する学校がかわり、環境の変化によって気分を一新できる。
- 7 労働時間の長さは問題ではあるが、人から強制されたものではない。

高校入試に備えて～三好麻乃さん（鶴島教室中学3年生）

私は中学校生活の3年間、勉強と部活動のどちらも大切に過ごしてきました。部活動では、自分のペースで作品作りに取り組むことが多く、一つのものを最後まで丁寧に仕上げるには根気が必要で、その姿勢は勉強にもつながっていると感じています。2年生の頃、思ったように結果が出ず悩んでいたことがありました。しかし、少しずつでも続けていけば結果が良くなってくることに気づいたのは、部活動での経験がきっかけでした。勉強も同じように、わからないところをそのままにせず、こまめに復習することを心がけました。すると時間はかかるけど着実に理解ができるようになり、テストの点数にも変化が現れ始めました。3年生になってからは受験を意識し、自分の中でやるべきことを決めて、取り組む習慣が身についたと思います。行きたい高校に合格できるように、これからも自分を成長させていきたいです。

